

2024年2月7日倉敷東小学校「NAGASHIMAーかくりの証言」の上映会 感想

<映画を観た児童、保護者、学校関係者の感想をまとめてみました> (宮崎 賢)

【児童の感想】

- 差別とか病気の後遺症が残って、かわいそうだと思います。
- 学校の劇でもハンセン病のことをやったし、学校でも学んだりしたから、ハンセン病のことは知ったと思ったんですけど、きょう映画を観たことで、それ以上に、いろんな事を知れて、もうちょっと自分から学んでいきたいと思いました。

【保護者の感想】

- 昔、研修で長島に行ったことがありますが、映画を観て心に刺さりました。
- 私の故郷は群馬なんですけど、恥ずかしながら草津の重監房の事を知らなくて、もう一度学び直そうと思います。
- 初めて知ったことが、映画の中でいっぱいありまして、こういう歴史を繰り返してはいけない。伝えることはすごく大事で、この映画をいろんな人に知ってもらいたいです。
- 是非、今後もやっていただきたいと思います。

【6年生の担任の感想】(美咲 諒 先生)

- ハンセン病の劇で演じるだけでは わからなかったことが、実際の映像で子供たちに観せることが出来て、もう一段階 学べたと思います。

邑久高校の生徒さんや先生の取り組みを宮崎さんの You Tube を観て 小学校でも出来るんじゃないかと校長に相談したら、とんとん拍子に動いてくれて、保護者の方も興味を持っていただいて上映会を企画しました。

映画は子供たちの心に響いたと思います。

【校長先生の感想】(藤野 博 先生)

- 6年生の担任が子供たちに考える機会を与えようと 始めたことなので、私が出来る限り応援したいと思いました。

映画は内容的にむつかしいところもあるかも知れませんが、やはり人生の中で ひとつひとつ心に残る映像の場面というものが あれば また そこから いろんなことを考えるきっかけになると思います。

●上映会の最後に映画で証言していただいた女性の入所者さん(86歳)から子供たちに手紙のサブライズがありました。先生が手紙を朗読して終わると、児童たちから大きな拍手が湧き上がりました。

●小学6年生に隔離の島「NAGASHIMA」の入所者さんの“生きた証し”を伝えることが出来ました。何かを感じてもらえればと思っています。(宮崎賢)